

スポーツ かわさき

No. 47

= 目 次 =

- 第3回理事会・評議員会開かる ②
- 国体3競技監督“抱負”を語る ③
- 「なみはや国体」視察記 ④
- 「神奈川ゆめ国体」開催種目紹介 ⑥
- いま、商業高校の運動部は ⑦
- 秋季市民体育大会 ⑧
- 走った、日本陸運公認コース ⑩
- 国体室だより ⑪
- 「ゆめ国体」川崎開催種目の日程 ⑫

財団法人 川崎市体育協会

平成9年度

第3回理事会・評議員会開かる

評議員の一部変更・大相撲川崎場所中間報告

平成9年度第3回の理事会および評議員会が、去る平成9年11月12日に幸スポーツセンター研修室において開催され、議案2件・報告事項4件慎重審議のうえいずれも原案どおり可決・了承され、(財)川崎市体育協会の年度後半の活動にはずみをつけることになりました。

理事会における審議内容は、次のとおりです。

高雲和也会長は開会の挨拶の中で、「今年3月に川崎市は『かわさき健康都市宣言』を行い、明るく豊かな市民生活をおくれるようにするために、いつでもどこでもスポーツを楽しめるよう環境整備をはかることをうたっています。体育協会としても競技スポーツのみならず生涯スポーツの視点に立ってこれから諸活動に取り組む必要があります。リハーサル大会が成功のうちに終了し、いよいよ53国体に向けて諸準備をすすめていくところになっていきますが、市民の健康づくり・街づくりと合わせてこれを推進していきたいものです。なお、川崎市の平成10年度の予算編成の時期ですが、財政困難な中、国体成功に向けまた国体終了後も地域スポーツの一層の振興が図れるよう、教育委員会のご配慮をお願いする次第です。」と語りました。

○審議事項第1号議案 評議員の変更について

バレーボール協会内の前任者の異動に伴い、評議員に佐藤猛氏が就任することを承認しました。

○同第2号議案 平成9年大相撲川崎場所の中間報告について

平成9年大相撲川崎場所運営委員会から中間会計報告が行われました。

前年に続いての開催であったこと、大相撲に対する人気にかげりが出ている時期であったこと、神奈川県下近隣他市でも開催されたことなどの理由から、入場者が予想の約80パーセント程度にとどまり、事務局としては入場券販売に大変苦労したこと等、体育協会加盟種目団体等の関係諸氏のご協力に感謝しつつ報告され、参加理事全員の拍手で承認されました。

引き続き、報告事項。

(1) 国体リハーサル大会の終了について

11月6～9日の日程で開催されボウリング競技

をもって、本市開催予定の全種目のリハーサル大会が終了しました。当該競技種目・国体室・関係行政職員・市民ボランティアの皆さんのご尽力により、立派に完了できました。残った課題はそれぞれのところで改善し、本番に備えよう。

(2) 創立50周年記念事業計画について

4つの分科会(記念誌・表彰・式典・スポーツイベント)の進捗状況について作間常務理事より報告がありました。

(3) 理事変更に伴う専門委員会等の編成替えについて

平成9・10年度の理事の一部変更に伴う専門委員会の構成およびスポーツ指導者派遣検討委員会の編成替えについて事務局より報告あり、これを了承しました。

(4) 賛助会費の納入状況について

9月30日現在、個人432人と団体55、協賛金の合計が1,882,000円となったことが報告されました。

終わりに、教育委員会永田忠男スポーツ課長から「来年度予算は大変厳しい状況だが、スポーツ振興のため頑張る」との挨拶がありました。

神奈川県体育功労賞を両氏受賞



川島 哲 男 氏
川崎野球協会副理事長

31年の長きにわたり、野球活動の指導に情熱を傾注し、地域における野球の普及に大きな貢献をされた。

川崎市体育協会の財団法人化に尽力し、生涯スポーツ事業の振興に功績をのこされた。(川崎市教育長推薦)



菊池 政 宣 氏
神奈川県卓球協会副理事長

長年にわたり県・市卓球協会の役員として、また、20有余年間競技役員として活躍、国体をはじめ多くの大会に参加、他の選手の模範となっている。選手・指導者の育成並びに競技運営に貢献し、卓球の振興に寄与された。

(県卓球協会推薦)

「かながわ・ゆめ国体」に向けて

3競技監督“抱負”を語る ボウリング・バスケットボール・ハンドボール

いよいよ「かながわ・ゆめ国体」開催の年、川崎市で開催されるリハーサル大会もすべて終り、本大会に向けて出発進行！となりました。この時にあたり川崎市で行われる5競技のうち、ボウリング・バスケットボール・ハンドボールの3種目競技の監督が抱負を語られました。市民の皆さんの大きな声援をお願いします。

◆ボウリング競技

成年女子監督 木戸 修

(川崎市ボウリング協会副理事長)

川崎市で開催されるリハーサル大会の最後を飾るボウリング競技は、昨年11月6日～9日の4日間「内閣総理大臣杯争奪第26回都道府県対抗選手権大会」として川崎グランドボウルで行われ、リハーサル大会としては大成功裡に終わったと思っています。



私は昨年の大阪国体終了と同時に「第53回神奈川ゆめ国体ボウリング競技」成年女子監督に指名され、選手強化に向け頑張っているところです。3月29日には代表選手が決定され、4月から8月までの5ヶ月間、勝つための強化指導に取り組んで行きたいと考えています。幸い、県ボウリング連盟の田原会長は川崎市在住でもありJOCの強化指導コーチ・日本ナショナルチームのコーチもされているので、私を含めた3名の専任コーチと共に指導に当たっていただき、川崎市で開催されるボウリング競技を“優勝”というすばらしい結果で飾る決意であります。

川崎市ボウリング協会は、現在高校生を中心としたジュニアボウラーの育成指導に取り組んで活動していますが、一方では生涯スポーツとして一般への普及にも力を注ぐよう頑張っており参ります。さきのリハーサル大会以上に、皆様の益々のご指導ご協力をお願いいたします次第です。

◆バスケットボール競技

成年男子監督 安倍 秀志

(県立川崎南高校教諭)



成人男子は種々のチーム(クラブ・実業団・学生等)からなる年令層の広い選手で構成されている選手集団です。ベテランが若手を引っ張り、若手はのびのびとしたプレーで活躍する、とてもチームワークの良いチームであります。

チームの特徴は、ディフェンスの強さと、外角からのシュートの良さがあげられます。現在、週2回のペースで、夜7時から9時までの練習に励んでいます。

平成8年の国体では優勝できましたが、昨年は決勝で大阪に敗れ2位でした。今年の神奈川国体では、昨年の大阪での悔しい思いを忘れずに、日々の練習を充実させ、優勝をめざし頑張りたいと思っています。応援の程よろしくお願い致します。



◆ハンドボール競技

少年女子監督 鶴留 高伸

(県立川崎北高校教諭)

地元で国体に出場できる幸せを感じています。素晴らしい機会を与えていただいたのだから、しっかりと練習を積んで、これも素晴らしい「とどろきアリーナ」で最高の試合をしようと、選手と指導スタッフが一心となって練習に励んでいるところです。

川崎市で実施する国体種目の中で、少年の部のあるのはハンドボールのみということなので、若者達のパワーの素晴らしさを川崎市民の皆様をはじめとして、全国各地からの観客の方々に見て頂くことを楽しみにしています。応援をよろしく。

この経験を「かながわ・ゆめ国体」に活かそう！

おおさかふれ愛 夢づくり なみはや国体視察記

いよいよ5月3日(日)から開幕祭を迎える「かながわ・ゆめ国体」。準備に拍車がかかって来ました。川崎市体育協会では先催県の国体運営を視て参考とするため、昨年10月、大阪なみはや国体に視察団を派遣しました。この経験を是非「かながわ国体」の成功に向けて活かしたいと思います。

陸上競技を観る

川崎市陸上競技協会

赤地 靖男

陸上競技の開始式を見るため10月26日早朝大阪入り。早速、長居陸上競技場に向かった。

この競技場は、大阪市中央部を南北に走る地下鉄御堂筋線1本でいくことのできる便利な場所にある。「視察員」として参加したので、競技場内を自由に見学することが出来たが、この立派なスタジアムを観察席最上段の放送室から眺められたのは幸いであった。正に圧倒的な眺めであったからだ。しかしながら「かながわ国体」のメイン会場となる新横浜の陸上競技場は、これを上回る規模と聞いているので、そのほうが楽しみになる。

競技の運営の仕方について参考になったことは、各レース終了後の記録発表の流れや、また電光掲示板を使用しての競技者の詳しい紹介、それに結果の発表のしかたのスムーズさなど。神奈川でも大いに役立てたいものと思った。

ラグビー会場と陸上競技場

川崎市ラグビーフットボール協会 山田 精二

10月26日早朝の新幹線で大阪入り。地下鉄・近鉄と乗り継いで、先ず近鉄花園ラグビー場へと向かい、成人男子・少年男子の試合を終日観戦した。

このラグビー場は、正月に全国高校大会が行われる所で、大観衆を収容できる花園ラグビー場第1グラウンドと第2グラウンド。それに隣接する東大阪市立花園中央公園内球技広場との3会場で国体が行われたが、3会場とも全て芝のグラウンド。近接しているので移動も支障なく、またそれらとは別に、すぐ横にも芝の練習グラウンドが2面用意さ



(オープニングセレモニー)

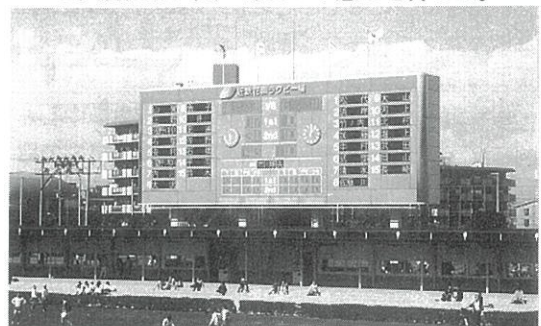
れているなどして、まことに羨ましい施設であった。

東花園駅から会場に至る道路にはラグビーをあしらったモザイクがはめられ、またマンホールの蓋もラグビーをデザインしたものがあって、グラウンドを含めまさに素晴らしい環境であった。

「なみはや国体」全体の印象

で云えば、会場までの交通について、新大阪をはじめとした各駅に案内所が設けられており、公共交通機関の利用により、専用バス等利用の際によく見受けられる集合時間への遅れなどの無用の混乱がなく、また近鉄奈良線では、通常普通電車しか停車しない東花園駅に準急を停車させるなど、選手や役員・観客などへの便宜について良く配慮されていた。

観客については、午前の開会式に先立って行われた公開演技の時、これに参加した幼稚園児・小学生等で賑わっていたが、公開演技が終了するや演技者達も去り、会場は閑散となってしまった。他の競技種目会場でも同じような状況であったとのこと。競技者に気の毒という感じを持った。



(近鉄花園ラグビー場第1グラウンド)

10月28日、「なみはや国体」のメイン会場である長居陸上競技場を視察にでかける。

JR長居駅、地下鉄長居駅に近く交通は至便。東京国立競技場にも匹敵する大スタジアムである。

この日は陸上競技の第3日目であり、スタンドは応援団や小中学生等の団体観戦で賑わっていたが、収容力が大きいいためか、全体としてはやや淋しい感じであった。

この日は風もなく、競技者にとっては絶好のコンディション。神奈川県勢は少年男女、成年男女ともに頑張っており、成年男子400mでは苅部選手の素晴らしい走りが見られた。夕刻、帰路につく。



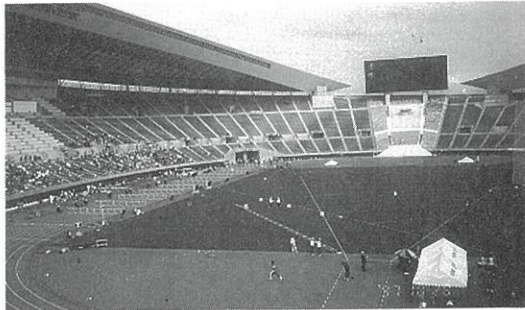
(長居陸上競技場正面入口)

開会式を視る

川崎市ゲートボール連合 武田 辰次郎

開会式を観るため10月25日、会場である長居陸上競技場に10時到着。視察員証、入場券等を渡される。

人情味あふれる浪花っ子の出迎えと案内に感謝しながら、11時開門を待って入場。スタンドは6万5000人の観客・演技出演者・選手役員団で超満員であった。やがて見事なマスゲームの披露。



(陸上競技場正面スタンド)

13時、天皇・皇后両陛下ご来臨。大会々長である山田勇知事が歓迎のご挨拶。役員・選手団の入場行進と続き、炬火点火。菅原教子選手代表の宣誓、「(なみはや)とは潮流を意味します。その名にふさわしく、さわやかに、力一杯競技するこ

とを誓います。」

式典の進行中、スタンド内の各所からゲバ的な怒声や雑音が起こり、10名程の男女が警察官に連行されるという一幕があり、これには少しく驚かされた。

その後26・27日とかけて、枚方市ほかのゲートボール会場、大阪城ホールでのバレーボール試合を観戦して帰川した。



(接待所で準備する市民奉仕員)

広報・市民運動等の視察雑感

川崎市体育協会理事 左澤 重明

「かながわ・ゆめ国体」川崎市実行委員会の中で広報・市民運動を担当する一員として、広報やら各接待所・案内役員らのあり方などを見るため行って来た。

新大阪駅頭で最初に眼に入ったのは「総合案内所」の看板。各競技会場への交通図などの入った様々なパンフレットを頂いたが、行先への乗り場へ行く方向がわからない。それらの案内が見当たらない。方向オンチの私などはウロウロと人のあとについて長居陸上競技場へと辿りついた。名古屋国体の時などは、もっとキメ細かく各駅にも案内板が出ていたのだが…。

開会式はさすがに警備・案内とも良く整っていたが、問題は他の部分にあった。というのが、各競技会場の閑散たる有様である。選手達が気の毒に見える程であった。大阪府立体育館は浪花の大繁華街「なんば」の駅近く。歩くのも容易でない程の車と人の雑踏の中で、さぞかしやバスケットボール会場は混んでいるだろうと思ってみたら、場内の観客はマバラでしかなかった。表の人混みが嘘のような冷たさであった。地方都市で開催の国体と比べ、大都市市民の無関心さを眼のあたりに見せつけられた思いであった。市民の関心をいかにして喚起するか、難しい問題である。

 * シリーズ① *

53国体『神奈川・ゆめ国体』川崎開催種目の紹介⑤



平成10年の神奈川国体において川崎市で開催される5競技種目団体の、川崎市体育協会における活動状況について順次ご紹介していますが、今回は成年一部一般の競技が行われる軟式野球について、川崎野球協会をご紹介します。

協会の運営

昭和21年8月(財)・全日本軟式野球連盟の設立に参加のため、神奈川県野球連盟が結成されたのに伴い、その川崎支部として、川崎野球協会が創立されました。今年で52年目をむかえました。

当協会は、行政区ごとの支部設置を目標としていますが、参加チーム数と球場の関係から現在は6支部と審判部・少年部で組織運営しています。

平成9年支部別登録チーム数

		A	B	C	計
大師支部	川 崎 区	6	38	82	126
中央支部		6	53	107	166
幸支部	幸 区	12	43	72	127
中原支部	中 原 区	5	22	79	106
高津支部	高津・宮前	11	31	55	97
多摩支部	多摩・麻生	0	13	69	82
合 計		40	200	464	704
少年登録	(7区合計)				191



日常の活動

財団法人川崎市体育協会へはその設立準備の時から参加・加盟している競技団体として

1. 各支部大会

市内6支部において4月から毎月3回、日曜日にA・B・C各クラスのトーナメントによる市民大会を開催しています。

2. 川崎市大会

6支部から選抜されたチームにより、各クラス全国大会・神奈川県大会の代表を決定するため、川崎市予選を随時開催しています。

3. その他の大会

上部団体である神奈川県野球連盟からの依

頼により、全国大会・東日本大会・関東大会・神奈川県大会等が随時開催されます。

4. 審判部

6支部から選抜された審判員により、協会主催・主管大会、社会人大会、高等学校大会の他、各種依頼大会等で活躍をしています。

5. 少年部

特に小学生の学童のために、川崎少年野球連盟を組織し活動を重ねています。

第53回かながわ・ゆめ国体秋季大会がいよいよ本年10月に開催されます。

軟式野球競技は、成年1部一般の大会が川崎球場と等々力野球場で行われます。

成年1部壮年は、横須賀市の2会場で、成年2部は藤沢市と茅ヶ崎市でそれぞれ開催されます。

当協会では、川崎市実行委員会のもとに競技運営委員会を組織して、平成8年に第51回国民体育大会軟式野球競技の関東ブロック大会、平成9年



には、リハーサル大会として第19回東日本軟式野球大会を川崎・等々力の両球場で開催しました。

本大会では、これらの経験を生かして、関係各方面の皆様方と協力しながら、全国各地から集まる選手・役員を迎えたいと思います。

ゆめ国体に出場するチームですが、過去に国体へ17回出場し、優勝実績もある「川崎市水道局」が、主力選手の故障により昨年の県代表選手選考会で敗退し、今回は出場できないのが残念ですが、40才以上の選手が参加する成年1部壮年の部には当協会から「川崎クラブ」が県代表として出場します。

皆様とともに、活躍を期待したいと思います。

(第5回) いま、川崎市立商業高校の運動部は

川崎市立商業高校の運動部は、男子11団体、女子12団体があります。放課後の練習を中心に、早朝練習や休日にも練習をし、健やかな汗とともに心身の向上を目指して、より良い結果を出せるよう頑張っています。

限られた放課後と休日の時間のなかには、商業高校の特徴である各種の検定試験（簿記、情報処理など）や、その補習もありますが、スポーツ同様、より高い目標を目指し、部員たちは見事に両立させています。

熱心な顧問の先生方も、生徒とともに過ごす時間を何よりも大切に、その専門的かつ体系的な指導に、部員は大きな信頼を寄せ、着実に成果を上げています。

学校のプロフィール

所在地 幸区戸手本町1-150

学校長 内田一洋

生徒数 全日制 888名 定時制 146名

スポーツを通じて

明日の川崎を担う実業人の育成を目指す

全国大会出場を何度も果たしている長い伝統のある弓道部は、整備された弓道場で、静寂のなか、熱い闘志と集中力で稽古を重ね、インターハイ準優勝の実績を残しています。

空手道部は関東大会の常連で、全国大会でも選抜・インターハイともにベスト8の実績があり、近年も連続して出場しています。昨年は「大阪なみはや国体」への県代表にも選ばれ、今年地元府奈川ゆめ国体でのさらなる活躍が期待されます。



女子バレー部は、関東大会の出場経験もあり、全国を目指し着実に実力を伸ばしています。「川崎を制するものは神奈川を制す」と言われる高レベルの激戦区にありながら、今年は市新人戦において準優勝の成績を残しました。全国大会へまた一步着実に近づいています。

ソフトボール部は、インターハイベスト8、関



東大会でも3位の実績があり、県大会においては常にシード権を確保しています。

一昨年度、関東大会出場のパドミントン部は今年度も県総体3位入賞、着実に力をつけています。



またサッカー部、女子バスケットボール部、陸上部も市代表として県大会出場を果たすなど、ますます活躍が期待されています。

選手、監督が意欲的な男子バスケットボール部や女子サッカー部も活発に活動しています。

スポーツを通しマナー・自主性を身につけ、明日の川崎を担う実業人となるべく、日々の研鑽を重ねています。

定時制は、陸上部の全国高校定時制通信制大会入賞を筆頭に、パドミントン部や卓球部が県大会で優勝するなど活発な活動を展開しています。

平成9年度

秋季市民体育大会 盛会のうちに終了

バスケットボール



☆一般男子

準決勝 富士見BULLS 65-39 フリッターズ
 南加瀬ガタファイズ 101-82 J' 2nd
 決勝 富士見BULLS 83-80 南加瀬ガタファイズ

☆一般女子

準決勝 東芝柳町 64-28 フリップバーズ
 川崎南OGクラブ 54-51 MAX
 準決勝 東芝柳町 65-55 川崎南OGクラブ

☆高校男子

準決勝 生田東高校 99-59 柿生高校
 生田高校 81-53 多摩高校
 決勝 生田東高校 90-60 生田高校

☆高校女子

準決勝 生田高校 79-45 市立商業高校
 川崎北高校 45-42 大師高校
 決勝 生田高校 77-55 川崎北高校

バレーボール (6人制)

☆一般男子1部

優勝 富士通
 2位 東魂会
 3位 凡暗頭
 奔流道

☆一般男子2部

優勝 Blue Wing B
 2位 ひよこ
 3位 SVC
 YSB

☆一般女子

優勝 ROOK
 2位 神奈川翔友会
 3位 バーバーズ
 奔流道

☆高校男子

優勝 法政二高
 2位 橘高校A
 3位 橘高校C
 多摩高校

☆高校女子

優勝 百合丘高校B

2位 橘高校A

3位 百合丘高校A
 市立商業高校A

バレーボール (9人制)

☆一般男子一部

優勝 躍歩日排球会
 2位 東芝多摩川
 3位 旭化成川崎
 NKK京浜

☆一般男子二部

優勝 奔流道
 2位 PiRiRi CLUB
 3位 若葉会ベアーズ
 THFクラブ

☆一般女子

優勝 HaYAToクラブ
 2位 WIN' S
 3位 VOICE
 ベガ

ハンドボール

☆一般男子

準決勝 I・Hクラブ 27-22 河田クラブ
 多摩川クラブ 32-13 川崎信用金庫



決勝 I・Hクラブ 26-20 多摩川クラブ

☆一般女子

決勝 新城クラブ 22-11 ダイナマイト

☆高校男子

準決勝 桐光学園高校 34-5 百合丘高校
 総合科学高校 25-20 法政二高
 決勝 桐光学園高校 20-13 総合科学高校

☆高校女子

準決勝 川崎北高校 15-9 多摩高校
 高津高校 18-7 百合丘高校
 決勝 川崎北高校 25-8 高津高校

☆中学男子

- 優勝 野川中学校
- 2位 南生田中学校
- 3位 有馬中学校
- 4位 平中学校

☆中学女子

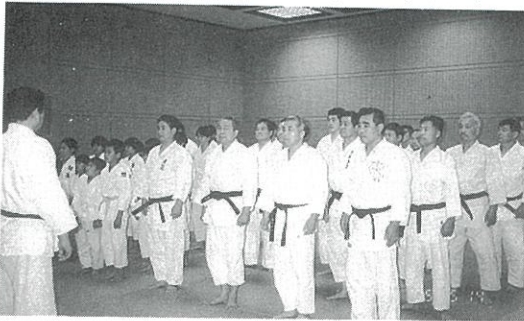
- 優勝 西中原中学校
- 2位 宮内中学校
- 3位 玉川中学校

- 3位 岡部(市水道局)
- 東 (NEC玉川)

柔道

☆小学生団体の部

- 優勝 幸柔道クラブA (野田, 新井, 磯部)
- 2位 中原柔道館A (渡辺, 新城, 市川)
- 3位 車道場 (小原, 石垣, 高橋)
- 幸柔道クラブB (古谷, 野田, 井口)



☆中学生団体の部

- 優勝 南加瀬中A (野田, 脇万, 齊藤)
- 2位 桜本中 (鈴木, 季, 曾根)
- 3位 南加瀬中B (武田, 梶川, 工藤)
- 日吉中B (奥平, 菊池, 山田)

☆有段 団体の部

- 優勝 車道場 (足立, 江川, 深井)
- 2位 柿生青少年柔道会 (金子, 西尾, 小川)
- 3位 幸柔道クラブA (天瀬, 松岡, 中野)
- 川崎南高OB会 (大河内, 榎本, 中島)

バドミントン

☆一般男子A級

- 優勝 稲垣 (川夜会)
- 2位 石渡 (市水道局)
- 3位 後藤 (富士通)
- 伊藤 (いすゞ自動車)

☆一般男子B級

- 優勝 円谷 (東燃化学)
- 2位 松尾 (TMT)
- 3位 近藤 (NKK京浜)
- 浅野 (日立システム開発)

☆一般女子

- 優勝 井村 (川夜会)
- 2位 庄司 (市水道局)

剣道 (各クラス優勝者一覧)

- ☆女子3級 北村加奈子 (小田剣心)
- ☆女子2級 水野由紀子 (宮田道場)
- ☆女子1級 吉成 梢 (浅田)
- ☆女子初段 北村 美紗 (百合丘高校)
- ☆女子2段~5段 折坂 紫帆 (百合丘高校)
- ☆男子3級 天内 勇樹 (宮田道場)
- ☆男子2級 広瀬 裕一 (宮田道場)
- ☆男子1級 太田 桂 (之久)
- ☆男子初段 小森 源彦 (宮内中)
- ☆男子2段 森尾 昌氏 (井剣)
- ☆男子3級~5段 小比賀英昌 (静心)
- ☆七区対抗 幸区チーム
- ☆四社対抗 消防局

空手道 (各クラス優勝者一覧)

- ☆団体 組手 川崎商業A
- ☆有段者 組手 舟橋 健一 (川崎商業)
- ☆無断者 組手 久徳 孝二 (森道場)
- ☆女子 組手 大橋かおり (川崎商業)
- ☆シニア 組手 塚田 光一 (白楽南)
- ☆少年団体 形 泊親会川崎C
- ☆有段者 形 船橋 智義 (川崎商業)
- ☆無段者 形 船橋 昭 (川崎商業)
- ☆女子 形 大橋かおり (川崎商業)
- ☆シニア 形 小林 光雄 (泉武館)



10,000人が走る
東京湾横断道開通記念

東京湾横断道 (アクアライン) 開通記念ハーフマラソンが神奈川県, 川崎市などからなる実行委員会主催により, 去る11月24日開催されました。川崎市川崎区浮島のトンネル入口部から全長9.5kmの海底トンネルを通過し, 「海ほたる」を経て約1kmの橋梁上を折り返すコース。1万人のランナーが珍しい海底コースを楽しみました。

第12回市民マラソン大会

走った！走った！日本陸連公認コースを！



平成9年11月16日(日)、同年3月9日に行われた第11回大会に引き続き、第12回市民マラソン大会が(財)日本陸上競技連盟公認となった多摩川リバーサイドコースで行われました。

今回は、ハーフの部の①35歳以下男子に193人、②36歳以上49歳までの男子に282人、③50歳以上男子に162人、④一般女子に59人が、10kmの部の①35歳以下男子に531人、②36歳以上49歳までの男子に459人、③50歳以上男子に311人、④高校生男子に74人、⑤35歳以下女子に158人、⑥36歳以上49歳までの女子に130人、⑦50歳以上女子に57人、⑧高校生女子に26人が出場し、風爽やかな多摩川沿いをそれぞれの思いで走りました。

上位入賞者は次の通りでした。

◎ハーフの部 35歳以下の男子

- 1 小池 進(リクルートAC) 1時間09分45秒
- 2 大平 浩之(東芝堀川) 1時間11分44秒
- 3 鈴木 健吉(国土館大RC) 1時間14分50秒

◎ハーフの部 36歳以上49歳までの男子

- 1 浦木 靖司(富士通川崎FC) 1時間12分26秒
- 2 横尾 和夫(ハートブレイク) 1時間16分06秒
- 3 野田 晴彦(幸区役所) 1時間17分40秒

◎ハーフの部 50歳以上の男子

- 1 樽谷 剛(東急コミュニテ) 1時間21分17秒
- 2 高橋 欣三(駒沢公園JC) 1時間21分52秒
- 3 荒木 和男(柿生クラブ) 1時間22分22秒

◎ハーフの部 女子

- 1 渡辺 利絵(川崎協同病院) 1時間32分56秒
- 2 黄地亜裕美(川崎ロード) 1時間33分20秒
- 3 平山 千春(川崎市陸協) 1時間35分06秒

◎10KMの部 35歳以下の男子

- 1 田中 浩二(東芝小向) 32分39秒
- 2 森 順一(キャノン) 33分54秒

◎10KMの部 36歳以上49歳までの男子

- 1 松本 光史(旭化成川崎) 33分23秒
- 2 佐野 豪一(SOUTHER) 35分02秒

◎10KMの部 50歳以上の男子

- 1 稲本登志治(川尻鉄工) 35分52秒
- 2 加藤 泰彦(川崎市水道局) 36分42秒

◎10KMの部 高校生の男子

- 1 芳賀 茂希(埼玉栄高校) 33分35秒
- 2 山中 実剛(百合丘高校) 34分41秒

◎10KMの部 35歳以下の女子

- 1 武内ゆう子(レヴェン宮崎台) 41分42秒
- 2 野沢 洋美(川崎電線) 42分19秒

◎10KMの部 36歳以上49歳までの女子

- 1 竹之内明子(町田章駄天) 39分04秒
- 2 山口美津子(多摩川クラブ) 43分18秒

◎10KMの部 50歳以上の女子

- 1 石川美恵子(多摩川クラブ) 43分37秒
- 2 中川 京子(吉田フーズ) 45分27秒

◎10KMの部 高校生の女子

- 1 中川 良美(橘高校) 45分52秒
- 2 神鳥 美希(生田高校) 43分01秒

第48回神奈川県総合体育大会総合第2位獲得

県内の37市町村対抗の県総合体育大会が平成9年2月スキー競技に始まり16競技が行われ、川崎市は全競技に参加し、昨年と同じく第2位の成績を収めました。

以下は種目別成績です。

種目名	期日	会場	成績
スキー競技	2/28~3/2	マウンテンパーク津南カガン	第7位
ソフトボール競技	8/10・17	綾瀬市本蓼川野球場ほか	第8位
ソフトテニス競技	8/17	平塚市田村庭球場	第4位
水泳競技	8/17	県立体育センター	第4位
陸上競技	9/28	県立体育センター陸上競技場	第2位
バレーボール競技男子	9/14	座間市立市民体育館	第1位
バレーボール競技女子	9/14	南足柄視体育センター	第3位
軟式野球競技	9/28	厚木市多摩川球場ほか	最高位
サッカー競技	9/21・28	県立体育センターほか	第2位
卓球競技	9/28	茅ヶ崎市総合体育館	2回戦
バスケットボール競技	9/21・28	横須賀市西武体育館ほか	1回戦
柔道競技	9/28	県立武道館	第2位
剣道競技	9/28	県立武道館	2回戦
弓道競技	9/28	厚木市荻野運動公園弓道部	第2位
バドミントン競技	9/21	大和スポーツセンター	第3位
クレー射撃競技	9/21	県立伊勢原射撃場	第2位



第53回 国民体育大会

かながわ・ゆめ国体

“お汗 汗”

国体室だより

炬火リレー要項決まる！

神奈川初の炬火（きょか）リレー

長野冬期オリンピックの聖火リレーは、各地でトーチの火が消えるなど数々の話題を残しながらも、47都道府県を走り抜け、見事聖火台に点火されました。

オリンピックの聖火リレーに替わるものが、国体の「炬火リレー」です。正式名は「大会旗・炬火リレー」と言い、昭和32年の第12回大会・静岡大会からスタートしました。神奈川県下で初めて国体が開催されたのが昭和30年第10回大会で、その時は炬火リレーはなく「旗リレー」でした。従って、かながわ・ゆめ国体で初めて炬火が神奈川県下をリレーされることとなります。

かながわ・ゆめ国体炬火リレーは、県民の連帯感と第53回国民体育大会及び第34回全国身体障害者スポーツ大会の大会気運を高めるため、県下11か所の採火地から全市町村と川崎市・横浜市の全区で実施されます。



昭和30年の国体の「旗リレー隊」



市役所前の引き継ぎ式

第10回大会（昭和三〇年）神奈川県大会の大会旗リレー
当時は「炬火」はなく大会旗のみの
炬火は第十二回大会から

川崎市では

川崎市での「炬火名」は、既に決定している「鉄（くろがね）の火」で、国体開催日の一週間前の10月17日（土）に、川崎区扇島の日本鋼管京浜製鉄所第1高炉の「熔銑」からの移し火で採火されます。

リレー方法

採火された炬火は、10月17日（土）・18日（日）の2日間をかけて、川崎区、幸区、中原区、高津区、多摩区、麻生区、宮前区の順にリレーされていきます。1日のリレー時間は9時30分から16時までとし、リレー走者は毎時10kmを目途に走るようになっております。また、走者リレー隊の1区間の走行距離は1.5kmを基準に2.0kmを超えない範囲で設定することになっております。

リレー隊の編成

リレー隊の編成は、原則としては1区間に12人となっております。

リレー隊は、【連絡車】→【広報車】→【先導車（白バイ）】→【リレー走者】→【本部車】→【救護車】→【移送車】→【後方車（パトカー）】の順で編成されます。

リレー走者については〔炬火保護者（1名）〕〔リレー隊長（1名）〕〔国民体育大会旗保持者（4名）〕〔全国身体障害者スポーツ大会旗保持者（4名）〕〔随走者（2名）〕の12名編成です。

なお、川崎市としては各区に最低1区間を、高齢者や児童・生徒及び障害者等が走行する区間を設定することとし、その区間の区間距離や走行時速など例外を設けてあります。

リレー走者の選出については、原則的には川崎市内に在住し、国籍は問わないものとしながら現在選考方法等を関係者で協議しております。

式典

式典の種類は、炬火を採火するときの『採火式』、炬火が採火地を出発するときの『出発式』炬火が歓迎式典を行う中継地に到着したときの『歓迎式』1日の最終走者リレー隊が炬火搬送者へ炬火を引き継ぐときの『炬火保管引受式』等とし、式典内容については簡素化を前提に定められていきます。

いよいよ本番 ゆめ国体

川崎市開催種目の日程

【夏季大会】 9月12日(土)～15日(火)

[ボウリング競技会] 9月12日～15日 川崎グランドボウル
〈開始式〉9月12日(土) 9:00～川崎市体育館
〈表彰式〉9月15日(火) 13:00～川崎市グランドボウル
〈練習会場〉川崎グランドボウル

【秋季大会】 10月24日(土)～29日(木)

[テニス競技会] 10月25日～28日 川崎市等々力庭球場
川崎市富士見庭球場
〈開始式〉10月25日(日)8:20～川崎市とどろきアリーナ
〈表彰式〉10月28日(水)13:00～川崎市等々力庭球場
〈練習会場〉住友商事多摩川グランド, 市大師庭球場
[バスケットボール競技会] 10月25日～28日 川崎市体育館
〈開始式〉10月25日(日) 8:30～川崎市体育館
〈表彰式(種別)〉10月28日(水)13:00～川崎市体育館
〈練習会場〉NKK京浜製鉄所体育館, 市立川崎高校体育館
[ハンドボール競技会] 10月25日～29日川崎市とどろきアリーナ
〈開始式〉10月25日(日)12:00～川崎市とどろきアリーナ
〈表彰式(種別)〉10月29日(木)13:30～川崎市とどろきアリーナ
〈練習会場〉法大第二中・高校体育館, 市立橋高校
体育館, 幸スポーツセンター
[軟式野球競技会] 10月25～28日 川崎球場
川崎市等々力野球場
〈開始式〉10月25日(日) 7:00～川崎球場
〈表彰式〉10月28日(水)競技終了後 川崎球場
〈練習会場〉市大師野球場, 市桜川野球場, 等々力
緑地中央スポーツ広場
[スポーツ芸術] 期間未定(秋季大会開催期間を含む10月中)
(公開演技)〈会場〉市民ミュージアムほか
スポーツ映画フェスティバルとスポーツ写真展など

賛助会員の皆様へ

川崎市体育協会のさまざまな活動は、賛助会員の皆様方の支援で行われております。平成9年度の会員数は個人 474名、企業等の団体は62団体に及びました。この一年間の皆様方のご援助に対し心から感謝を申し上げます。

本年は「かながわ国体」の開催の年にあたり、

また、体協も創立50年の節目を迎えます。皆様方のなお一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。賛助会員登録申込先は(財)川崎市体育協会です。

ご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表します
(財)川崎市体育協会会長 高雲和也

伊藤三郎氏 平成9年10月16日ご逝去

元川崎市長

元川崎市体育協会会長(1971～1989)

市川代三郎氏 平成9年11月29日ご逝去

市議会議員 元市議会議員

川崎市少林寺拳法協会会長

岡崎彦雄氏 平成9年12月23日ご逝去

川崎市体育協会理事(競技専門委員)

川崎市バスケットボール協会副会長

川崎市体育協会スポーツ功績賞受賞

編集後記

◎横浜市在住の早川一郎様から本誌についてのご意見を頂いた。要旨は次の通り。①用紙の再生紙利用②表紙写真の説明記入③目次の文字を2倍に④写真をもっと大きくし、その分、文を簡潔に⑤発行間隔を記入。◎すべてをもっともなご指摘で、熱心なご提案、本当に嬉しく思った。できればすべてご提案通りにしたいのだが、①再生紙利用は5%くらい費用がかさむので、現在の体協予算ではキツイ。③B5版の現在では写真が壊れる(A4版ならば2倍位に出来るのだが、これも財政難で今すぐは無理です)他については次号から取りかかりたいと考えます。(表紙の写真はいわて銀河国体スピード1,500メートルの長岡淳一選手(専大)右から二番目)

スポーツかわさき 第47号

— 発行 — (平成10年2月25日)
(年3回)

(財)川崎市体育協会

〒210 川崎市幸区戸手本町1-11-3

-0923 川崎市幸スポーツセンター内

電話 044-556-5511 FAX 556-5559

編集 (財)川崎市体育協会広報委員会

印刷 (株)第一サンエー (電話222-2356)

〒210-0002 川崎市川崎区榎町3-9